

OZO

CORPORATE PROFILE

OZO

OZO Chemical Engineering Laboratory Company Ltd.

URL: <http://www.ozokagaku.co.jp> E-mail: ozokagaku1@ozokagaku.co.jp



OZO

OZO Kagakugiken Co., Ltd.

株式会社 オゾ化学技研

〒567-0072 大阪府茨木市郡4丁目11番41号 本 社 (代 表) TEL.072-640-0909 FAX.072-640-0911

産業界の新たなニーズに応え、 乾燥・吸湿分野の可能性を 大きく広げるOZO化学技研。

多様化する乾燥、吸湿ニーズに、OZO化学技研は先端技術、アイデア、そして オリジナリティで、
大きな可能性を切り拓いてまいります。



いつも私たちの身の回りにある乾燥剤。あまりにも当たり前すぎて、どれほど暮らしに深く関わっているか、気付かないままに過ごしていませんか。ご存じのように家庭で見かける乾燥剤などは、そのほとんどが食品の保存に使われています。食感や鮮度保持のために乾燥剤が大活躍しているのです。一方で家庭を離れた場面で、乾燥剤がどのように使われているのかと言うことに視点を移してみれば、その可能性は驚くほど多様な領域に繰り広げられています。たとえば精密

機器。結露や水滴の発生を抑え、作動に好ましい環境を整えるためには欠くことのできない存在となっています。またエレクトロニクス分野では湿気によるサビの発生が、精度やスムーズな動作を阻害することになりかねないため、乾燥した動作環境が求められています。さらに輸送の分野でも、湿度が高くなりがちな海上輸送では長時間にわたって安定した湿度の管理が不可欠です。このように産業界のあらゆる分野で、乾燥剤による湿度の

コントロールは重要な役割を担っていることがわかりいただけたでしょう。近年ますます高まり続けるこういった要求にお応えするため、オゾ化学技研は常に新しい可能性を追求し、研究・開発に努めています。今ある技術をより信頼性の高いものとして洗練させていくことは言うまでもなく、次の産業界に起こるであろうことに仮説を立て、そのニーズに的確に応えていくために、これまでの常識を越えた吸湿・乾燥剤技術の新分野をオゾは切り拓いてまいります。

品質方針

私たちは、乾燥剤メーカーとして
お客様が必要とされる製品の製造に、
継続的改善・創意工夫をもって取り組み、
安全安心を使命として、
国内外へお届けします。

社長メッセージ

オゾ化学技研は工業用乾燥剤のメーカーとして、お客様のニーズを踏まえた新製品の開発と高品質な製品づくりで、1983年の創業以来歩んでまいりました。今後ますますその重要性が増し続けるであろう工業用乾燥剤の分野は、現在の主流である物流、食品工業の領域を超えて半導体、IT分野へもその用途を拡大し続けています。乾燥剤に求められる機能性も、これまでのようにただ乾燥すれば良いと言うだけでは無く、乾燥状態の積極的な制御にまで踏み込んだ高機能性の乾燥剤の登場が期待されています。さらに複雑化、多様化の一途をたどる社会構造の変化に伴い、これまでの常識にとらわれない乾燥剤の存在も考えられるでしょう。その具体的なかたちを求めて研究開発を続けるオゾ化学技研。私たちはこれまでに培った技術と開発力で、多様なニーズにお応えし、乾燥剤の新しい可能性の創造を目指してまいります。これからもお客様の信頼にお応えし、必要とされる企業であるために…。今後とも変わらないご指導、ご支援をいただきますようお願い申し上げます。

代表取締役社長
Makoto Tsuchikawa 土川 真



営業本部

国内外からの受注管理はもとより、様々な用途に応じた防サビのコンサルティングなど、お客様からのリクエストにきめ細かく対応しております。



ミーティングルーム・会議室

リラックスした雰囲気、活発な意見交換ができるように設計されたミーティングルーム。新たなビジネス・アイデアが、ここから生まれてきます。



製造部

ISO 9001に基づき、徹底した品質、工程管理を行っており、お客様より高い評価をいただいております。



ストックヤード

品質を最適に保ち、効率良く製品を在庫するストックヤード。カテゴリ毎に整理され、必要な時に素早く、的確な出荷体制を整えています。

事業内容

1. 乾燥剤の製造販売及び輸出入
2. 調湿剤の製造販売及び輸出入
3. 鮮度保持剤の製造販売及び輸出入
4. 国内外の企業への投資
5. 前各号に付随する一切の業務

取引銀行

京都銀行：茨木支店 三井住友銀行：茨木支店
北おおさか信用金庫：富田支店



本社1Fショールーム

本社外観

沿革

昭和58年 9月	株式会社雪江堂大阪の精密化学品部として、大阪府高槻市に「オゾ化学技術研究所」を開設。
昭和59年 9月	「オゾ」(全温度性、複合機能乾燥剤)を発売開始。
昭和60年 9月	「オゾマックス」(無炎発熱燃料)を発売開始。
昭和61年12月	大阪府茨木市に製造工場を新設。
平成12年10月	株式会社雪江堂大阪より分離独立し、「有限会社オゾ化学技研」を設立。
平成18年 4月	品質マネジメントシステムの国際規格、ISO9001:2000認証取得。
平成18年 6月	有限会社を解散、株式会社に組織変更し、現在に至る。
平成18年10月	資本金1,000万円に増資。
平成21年10月	オゾ「スティックタイプ」発売開始。
平成22年 4月	品質マネジメントシステムの国際規格、ISO9001:2008認証取得。
平成29年 5月	「オゾドライシート」発売開始。
平成31年 4月	京都銀行 社債(私募債)を発行。
平成31年 4月	大阪中小企業投資育成株式会社より株式投資・資本金増資。
平成31年 4月	資本金3,025万円に増資。
令和 2年10月	本社事務所及び工場を移転。



会社概要

商号	株式会社オゾ化学技研
代表者	代表取締役社長 土川 真
所在地本社(代表)	〒567-0072 大阪府茨木市 4丁目11番41号 TEL.072-640-0909 FAX.072-640-0911
工場	〒567-0072 大阪府茨木市 4丁目11番41号 TEL.072-643-7411 FAX.072-641-1355
ホームページ	http://www.ozokagaku.co.jp
創業	昭和58年
設立	平成12年10月2日
資本金	3,025万円
決算期	3月31日

主な納入先 企業名(順不同・株式会社表示・敬称略)

電子・精密機器関係
ミネベア、パナソニック、三菱自工、日本電産、NTN、キャノン、リコー、富士ゼロックス、村田製作所、デンソー、新光電気工業
化学・産業資材関係
日本電気硝子、川崎重工業、三菱重工業、三菱樹脂、日本発条、三菱レイヨン、アイセロ化学、住友ベークライト、アセラ、スリーボンド、東レ、日東電工、オージー・長瀬カラーケミカル、日立マクセル、東京化成工業、帝人、クラレ、神戸製鋼所、信越化学、信越ポリマー
医療関係
協和発酵、ウチダ和漢方、金剛薬品、サンスター、日本純薬、林純薬工業
食品関係
神戸風月堂、チーリン製菓、旭食品、福重(福重)
その他の分野
マルナガ梱包、鴻池運輸、東芝物流、日立物流、コマツ物流、三井物産プラスチック、もりや産業、昭和貿易、川上産業、蝶理、長瀬産業、巴工業、銅林、富士工業、西野産業、杉本商事、郵船商事、キシダ化学

